



▲片山市長や能登芳昭富良野市長（左から2人目）らが「採火式」で友好の絆を確かめる▶播州織ファッションショーでは西脇高校生活情報科生徒らが色鮮やかな衣装を披露



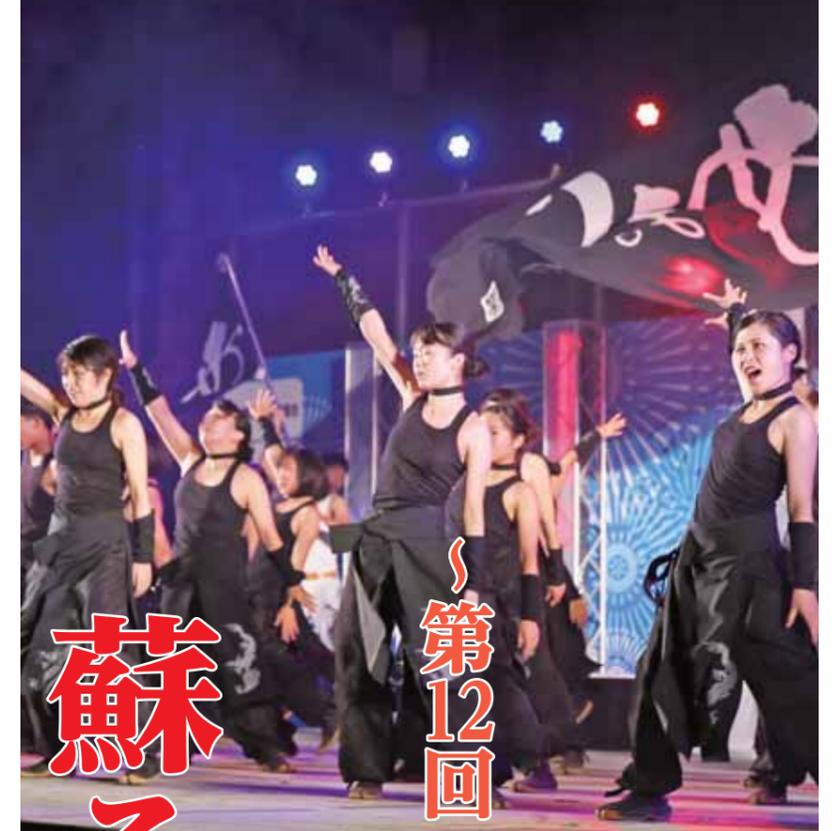
▲夏の夜空を彩る約2,000発の花火（26日）



▲前夜祭を盛り上げた比延小学校鼓笛隊のマーチング演奏
▼多くの来場者でにぎわい、熱気に包まれる総合市民センター



▲総勢25チームが躍動感あふれる演舞を披露



蘇る、熱き鼓動

第12回へその西脇・織物まつり

▲加杉野おどりで加杉野大賞に輝いた「あまのじゃく「い組」」▼機殿神社での「織物感謝祭」で播州織の振興を願う



2日間に2万人が来場
8月26日と27日に「第12回へその西脇・織物まつり」へその西脇・織物まつり実行委員会主催）が開催されました。26日の前夜祭は日本へその公園で開催。双葉小学校による「よつちよれ」を皮切りに、比延小学校鼓笛隊や西脇東中学校音楽部が演奏を披露。また、西脇市の友好都市「北海道のへそ」富良野市の能登芳

昭市長らをお迎えし、友好の火をともし「採火式」が行われました。
27日に機殿神社で行われた「織物感謝祭」には地元の播州織関係者らが出席。製織の儀と手織機の奉納が執り行われ、播州織の振興を祈願しました。総合市民センターで開催された本祭では、演舞を競う加杉野おどりやへそのミュージックフェスタなどのステ

ーイベントが祭りを大いに盛り上げました。また、色鮮やかな播州織の衣装に身を包んだモデルが登場した播州織ファッションショーに観客から大きな拍手が送られました。両日合わせて2,500発の花火が打ち上げられ、会場は多くの来場者でにぎわいました。
■問合せ 商工観光課（市役所内線281）